

いさりび電球の旅がいま始まる
函館美術館から道南各地へ
そして旅はさらに続く

ココカラハジマル

小宮伸二オブジェ・インスタレーション

2019 6.15(土) - 6.21(金)

9:30 - 17:00 入場無料

北海道立函館美術館 ホール

はこだてトリエンナーレ プレ企画

会場には「はこだてトリエンナーレ」の紹介と、全参加作家の小品も展示されます。

本展覧会最終日には、美術館講堂にて、音楽家でチェンバロ奏者の森洋子さんが作品からインスピレーションを得た演奏をおこないます。

アートルリップ/ARTrip

漁火電球「旅するオブジェ」作品群

漁火(いさりび)とはイカ釣り漁船の集魚灯が織りなす光のこと。夜の海に浮かぶ輝きは遠くからも瞬き、まるで星空のよう。海と夜空が溶け合う瞬間です。そこで漁火電球そのものに着目し、旅の象徴として制作された漁火電球使用のオブジェ作品群が、美術館ホールにところ狭しと展示されます。たとえばそれは、修道院など道南の地をイメージした作品であったり、雷に打たれた神社の御神木を作品にしたものであったりします。土地の持つ記憶や事象、歴史が、旅するオブジェとなるのです。また、現代美術の始まりを告げたデュシャンへのオマージュ作品など、アートそのものの旅といった意味合いも持たせています。

一部のいさりびオブジェ作品は、その後「はこだてトリエンナーレ」の各会場へと旅立ち、会場の目印としての役割を担います。

函館美術館を出発し、アートルリップと名付けられた「アートの旅」はその後もさらに続いていくことでしょう。



アートをめぐる、
アートでつながる。